

|                                     |        |      |       |     |           |
|-------------------------------------|--------|------|-------|-----|-----------|
| 人間学<br>(Philosophical Anthropology) |        |      |       |     | 担当教員      |
|                                     |        |      |       |     | 准教授 坂本 尚志 |
| 科目群                                 | 開講期    | 授業形態 | 単位数   | 必修等 |           |
| 人と文化                                | 2年次 前期 | 講義   | 1.5単位 | 選択  |           |

#### 【概要】

「人間とは何か」という問いについて、哲学を出発点にどのように考えることができるかを、人間と社会を構成するさまざまな要素を視野に入れて考察する。その手段として、哲学的問題について記述する手法の一つである小論文（ディセルタシオン）の技法を習得することを目指す。哲学の概念を用いつつ、自分の意見と対立する意見についても十分な目配りを行った上で、説得力のある意見を構築することが目的である。また、哲学書の抜粋にも随時触れることで、哲学という学問の多面性、奥深さにも理解を深めていきたい。

#### 【授業の一般目標】

人間の多様な側面について、哲学がどのように考えてきたかを説明できる。  
哲学のさまざまな問題について、哲学的な概念を用いて、対立する意見を尊重しつつ、自分の意見を主張できる。

#### 【準備学習(予習・復習)】

参考資料等を授業中に紹介するので、授業前後に目を通しておくことが望ましい。

#### 【学習項目・学生の到達目標】

| No | 学習項目      | 担当教員 | 学生の到達目標                                                            |
|----|-----------|------|--------------------------------------------------------------------|
| 1  | 哲学的に考え、書く | 坂本   | 講義の概要、到達目標を理解する。<br>哲学における考え方、議論の仕方を理解する。<br>小論文の基本的構成要素、記述法を理解する。 |
| 2  | 人間の意識     | 坂本   | 意識する存在としての人間を理解する。<br>小論文の構成案の特徴を理解する。                             |
| 3  | 人間と欲望     | 坂本   | 欲望する存在としての人間を理解できる。<br>問題分析の方法を理解する（１）。                            |
| 4  | 他者の存在     | 坂本   | 他者とのかかわりにおいて人間を理解する。<br>問題分析の方法を理解する（２）。                           |
| 5  | 労働と技術     | 坂本   | 労働、技術、自然との関係において人間を理解する。<br>問題の導入の方法を理解する。                         |
| 6  | 歴史と人間     | 坂本   | 歴史的存在としての人間を理解する。<br>問題の展開の方法を理解する（１）。                             |
| 7  | 芸術と人間     | 坂本   | 人間にとって芸術とは何かを理解する。問題の展開の方法を理解する（２）。                                |
| 8  | 宗教と人間     | 坂本   | 宗教との関わりで人間を理解する。結論の書き方を理解する。                                       |
| 9  | 正義について    | 坂本   | 人間にとって正義とは何であるかを理解する。<br>小論文の構成案の作成法について理解する。                      |
| 10 | 中間課題      | 坂本   | 小論文の構成案を作成する。                                                      |
| 11 | 自由について    | 坂本   | 人間にとって自由とは何であるかを理解する。<br>構成案から小論文を作成する方法を理解する。                     |
| 12 | 幸福について    | 坂本   | 人間にとって幸福とは何であるかを理解する。<br>小論文の評価基準を理解する。                            |
| 13 | 義務について    | 坂本   | 義務との関係で人間を理解する。                                                    |
| 14 | 正常と健康     | 坂本   | 正常／異常、健康／病気という対概念との関係で人間を理解する。                                     |
| 15 | 総括・まとめ    |      |                                                                    |

（書名）

（著者・編者）

（発行所）

教科書 特になし。

参考書 授業中に適宜指示する。

#### 【成績評価方法・基準】

レポート試験90%、中間課題10%

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

オフィスアワーは以下の通りです。

金曜日13時～14時（育心館4階）

出張・会議等により不在の場合もありますので、事前にメール等で確認してください。